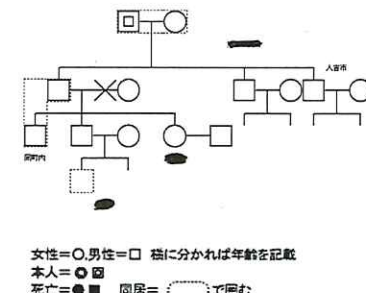


基本情報

保険者番号： _____
 被保険者番号： _____ [面談場所等：自宅]
 受付日（令和 5 年 〇 月 〇 日）受付者（ _____ ） 受付方法（ 訪問・電話・来所・その他 ）

利用者名	N. Y	性別	<input checked="" type="checkbox"/> 男・女	生年月日	(83 歳)
住所	〒 _____	電話番号	_____		
緊急連絡先	氏名 _____	男・女	年齢 (_____ 歳)	本人との続柄 (_____)	
	住所 _____	TEL _____	携帯 _____	090- _____	
主訴	【相談内容】 令和4年12月初旬より下肢筋力低下があり、12月31日 18時頃土間の上がり框で尻もちをついて腰椎第3圧迫骨折受傷された。以降臥床時間が増え、フレイル状態にある。コルセット作成し、自宅療養されていたが、疼痛により体動困難などがあり、家族が入院を強く希望し、令和5年2月16日～リハビリ目的にて K 病院へ入院。4月10日自宅退院となり、退院後の在宅生活への相談があった。				
	【本人・家族の要望】 本人：本人) 腰の痛みもだいぶいい。家に居ると色々とせんぱんこともあるので、忙しい。 妻) また、元気になって薪など集めるようにならば！去年の夏ころまでは、山で焚き物を集めていたのに・・・。 介護者：長男) 徐々に足腰が弱くなってきている。前のように改善するとは思えない。腰の骨折をして、つぶれていると病院から言われた、母(妻)も透析シャントを作っているので介護もできない。家での生活は難しいと思う。				
生活歴・生活状況	【生活歴】 Y 町 _____ に生まれる。 小学校、中学校、多良木高校卒業後は自宅の山の仕事を手伝っていた。30歳頃養魚場を自宅で開き、鯉や鱒などを養殖し食事も振舞っていた。その後、養魚場を閉じた後は土建会社、生コンの会社に勤めた。脳梗塞を機に大型免許はながし、70歳過ぎまで働いた。その後、脳梗塞数回繰り返して、ボチボチ家のことをしながら二人暮らしを送っていた。 身長:148cm 体重:39.6kg BMI:18		【家族状況】 □：男性 ○：女性  <p>在宅は妻との二人暮らし。以前は自家用車を運転するくらい元気だった。同居の妻は、令和5年1月5日にシャント作成をしており、今後透析導入予定。同町内に長男が住んでおり通院等の支援をしている。</p> <p>女性=○ 男性=□ 横に分かれれば年齢を記載 本人=● 同居=○ 死亡=■ 〇で囲む</p>		
	【経過・病歴等】 不詳: 高血圧症 70歳: 脳梗塞 72歳: ラクナ梗塞 令和4年5月: 左橈骨遠位端骨折 令和4年12月: 第3腰椎圧迫骨折 令和5年1月: コロナ感染 令和4年12月初旬より下肢筋力低下があり、12月31日18時頃土間の上がり框で尻もちをついて腰椎第3圧迫骨折受傷された。以降臥床時間が増え、コルセット作成し、自宅療養されていたが、疼痛により体動困難で K 病院へ令和5年2月16日～4月6日へ入院。 退院前訪問指導により、暫くは通所等の見守りがある所での入浴をすることや夜間トイレが頻回で入院中P-トイレ使用していた事などの情報提供がある。		【主治医】 【 K 病院 Dr 意見書より】 脳梗塞後遺症及び加齢に伴う四肢の筋力低下を認め、また直近の転倒による腰椎圧迫骨折の為、日常生活の一部では介助が必要である。圧迫骨折もあり、日常動作が緩慢になり、転倒の危険性も増大している。 【 K 病院 Dr より】 リハビリと内服により疼痛コントロールできているが、コルセットを外す時期は、再整形外科にて判断してもらう。		
日常生活自立度	障害老人の日常生活自立度	A 2	認知症老人の日常生活自立度	正常	
認定情報	要支援 2 (令和 5 年 1 月 10 日 ~ 令和 5 年 7 月 31 日)		認定日	令和 5 年 2 月 7 日	
課題分析 (アセスメント) 理由	: K 病院退院、在宅復帰の為				
利用者の被保険者情報	<input type="checkbox"/> 医療保険 (_____) <input type="checkbox"/> 身体障害者手帳 <input type="checkbox"/> 年金 (_____ 年金) 受給月額約 _____ 円程度				
現在利用しているサービス					

課題分析(アセスメント)に関する項目

受付日 (令和 5 年 0 月 0 日) 受付者 ()

利用者名: ●●●●

NO	標準項目名	過去1ヶ月以内の出来事	チェック事項・内容	気づき リスク等
10	健康状態	<p>診断名・障害名 (脳梗塞後遺症、第3腰椎圧迫骨折、高血圧症)</p> <p>・服薬(有)</p> <p>①カロナール(300) 3包・錠 (朝・昼・夕) (食前・食間・食後・就寝前)</p> <p>②トアラセット配合錠 2包・錠 (朝・昼・夕) (食前・食間・食後・就寝前)</p> <p>③ナフトピジルOD錠25 2包・錠 (朝・昼・夕) (食前・食間・食後・就寝前)</p> <p>④ (有・無)</p> <p>・治療及び受診の必要性 (有・無) 受診 1回/月</p> <p>・医学上注意点・緊急時の対応 <input type="checkbox"/> 必要(詳細を下記に記入) <input checked="" type="checkbox"/> 特に無し</p> <p>・既往歴 ① 70歳 脳梗塞 ② 72歳 ラクナ梗塞</p> <p>③ 82歳 左橈骨遠位端骨折 ④ 83歳 第3腰椎圧迫骨折</p> <p>・身長 148.0cm ・体重 39.6kg ・栄養状態 BMI 18.0</p> <p>・1日の活動動態 (腰痛があり、普段からベッドに横になっている。)</p>		別紙参照
11	移動	<p>・室内手段 (T杖)</p> <p>・屋外手段 (T杖)</p> <p>・移乗介助 (全介助・<u>一部</u>・見守り・自立)</p> <p>・寝返り (全介助・<u>一部</u>・見守り・自立)</p> <p>・起居動作 (全介助・<u>一部</u>・見守り・自立)</p> <p>・危険認知の低下 (有・無) ・転倒歴 (有) 頻度 1回/ 無)</p> <p>・その他 ()</p>		脳梗塞による左半身の不全麻痺が残存している。足の出が悪く、ちょこちょこ歩きで躓きやすい。左手の伸展が困難で左手指の変形がある。圧迫骨折により、コルセット着用中。
	入浴	<p>・浴槽までの移動 (独歩・杖・シャワーキャリー・車椅子・<u>手すり</u>)</p> <p>・浴槽の出入り (全介助・<u>一部</u>・見守り・自立)</p> <p>・洗身 (全介助・<u>一部</u>・見守り・自立)</p> <p>・入浴状況 (場所 家庭/<u>通所</u>) ・回数 2回/w)</p> <p>・自立の可能性 (有・無・不明)</p> <p>・その他 ()</p>		自宅の浴槽は、浴槽縁が高く、跨ぎ動作が困難であり、一人で入浴は出来ない。また、歩行のバランスが悪いので、転倒の恐れがある。
	更衣	<p>・上着の着脱 (全介助・<u>一部</u>・見守り・自立)</p> <p>困難な動作 (<u>袖通</u>、<u>ボタン掛け</u>、<u>首を通す</u>)</p> <p>理由 (<u>麻痺等のため動作困難</u>・手順の理解困難・意欲の低下・その他)</p> <p>・ズボン、スカート (全介助・<u>一部</u>・見守り・自立)</p> <p>理由 (<u>麻痺等のため動作困難</u>・手順の理解困難・意欲の低下・その他)</p> <p>・清潔・不潔の区別 (<u>可</u>・不可)</p> <p>・自立の可能性 (有・無・不明)</p> <p>・その他 ()</p>		左上下肢不全麻痺があり、着脱に時間がかかる。妻が介助すると、協力動作もある。
12	整容	<p>・洗顔 (全介助・<u>一部</u>・見守り・自立) ・歯磨き (全介助・<u>一部</u>・見守り・自立)</p> <p>・整髪 (全介助・<u>一部</u>・見守り・自立) ・爪切り (全介助・<u>一部</u>・見守り・自立)</p> <p>・義歯の管理 (全介助・<u>一部</u>・見守り・自立) ・耳かき (全介助・<u>一部</u>・見守り・自立)</p> <p>・髭剃り (全介助・<u>一部</u>・見守り・自立・該当なし)</p> <p>・化粧 (全介助・<u>一部</u>・見守り・自立・<u>該当なし</u>)</p> <p>・自立の可能性 (有・無・不明)</p> <p>・その他 ()</p>		総入れ歯し様であり、左手に麻痺があるが、歯磨き・洗顔は自分でどうにか行っている。
	IADL	<p>○：可能 △：一部可(含む指示・見守り) ×：不可</p> <p>・調理 (×) ()</p> <p>・洗濯 (×) ()</p> <p>・掃除・部屋の整理 (×) ()</p> <p>・電話の使用 (○) (携帯電話を持っており、妻や長男に連絡をする。)</p> <p>・買い物 (×) (妻が買い物に行っている。)</p> <p>・交通機関の利用 (有/頻度 <u>無</u>) ()</p> <p>・安全管理 (戸締り・火・留守番) (△) ()</p> <p>・電化製品の取り扱い (△) ()</p> <p>・金銭管理 (△) (妻が管理しており、本人はおこずかい程度持っている。)</p> <p>・自立の可能性 (有・無・<u>不明</u>)</p> <p>・その他 ()</p>		調理、洗濯、掃除、金銭管理などは昔から妻がやっていた。
	認知	<p>・記憶障害、見当識障害 (<u>無</u>・時々・しばしば・常時)</p> <p>・意欲の低下 (<u>無</u>・時々・しばしば・常時) ・鬱状態 (有・<u>無</u>)</p> <p>・失認 (<u>無</u>・有)) ・失行 (<u>無</u>・有))</p> <p>・注意障害 (<u>無</u>・有)) ・日常の意思決定 (<u>可</u>・ほぼ可・ほぼ困難・できない)</p>		認知面の大きな低下はないが、妻が注意しても聞き入れなかったり、妻を怒鳴ったりすることがある。
14	コミュニケーション能力	<p>・意思の伝達 (<u>可</u>・時々・ほとんど不可・不可)</p> <p>・伝達方法 ()</p> <p>・指示への理解及び反応 (<u>可</u>・時々・ほとんど不可・不可)</p> <p>・失語症 (<u>無</u>・有) ・運動性・感覚性・全失語) ・筆談 (可・不可)</p> <p>・聴力 (普通・<u>やや難</u>・大声で可・聞こえない・判断不能) 眼鏡使用・コック使用)</p> <p>・視力 ()</p>		左耳は聞こえにくいですが、コミュニケーション可能。

15	社会との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ・家族交流 (有・無) 長男が同町内に住んでおり、身の回りの支援をする。 ・近所づきあい (有・無) ・友人や趣味仲間との交流 (有・無) ・老人会など地域活動への参加 (有・無) ・近所への外出 (有・無) 受傷前までは自家用車の運転をしていた。 ・車による移動を必要とするような場所への外出 (有・無) 病院受診 	妻との2人暮らし。妻が長男に色々頼むことはある。圧迫骨折受傷前までは、土手の草払いや薪を集めたり、一昨年前までは、銀杏を拾ったりと妻と山の仕事をしていた。
16	排便	<ul style="list-style-type: none"> ・尿意 (有・無) ・便意 (有・無) ・排泄回数 (尿/多い 便/) ・その他 () 	別紙参照
17	褥瘡・皮膚の問題	<ul style="list-style-type: none"> ・褥瘡の有無 (有・無) 部位 ・程度 (軽・中・重) ・その他の皮膚症状 (有・無) 部位・状態 () ・掻痒感 (無・軽・中・重) 	
18	口腔衛生	<ul style="list-style-type: none"> ・口臭の有無 (有・無) ・噛み合わせ (適・不適) ・むし歯 (有・無) ・義歯使用状況 (自歯・部分入れ歯・総入れ歯・総入れ歯) ・歯茎の状況 (良好・炎症所見・歯槽膿漏) ・口腔の状態 (良好・問題有: 舌・唾液・その他) ・食事摂取への影響 (有・無) ・歯磨きの実施状況 (毎食後・1回/1日・時々・うがいのみ・未施行) 	総義歯使用。硬いものが食べにくい為、柔らかめ物も選んで食べている。
19	食事摂取	<ul style="list-style-type: none"> ・摂取の状況 (全介助・一部・見守り・自立) ・経管栄養 (有・無) ・食器用具 (箸・スプーン・自助具・その他) ・主食形態 (普通・おにぎり・二度炊き・全粥・その他) ・副食形態 (普通・きざみ・ミキサー・とろみ・その他) ・食事内容 (kcal) ・水分摂取量 (cc/日) ・食事摂取量状況 (少・普通・多) ・食べ残し (有・無) ・むせ (有・無) ・嚥下状態 (良・不良 / 詰め込みあり 見守りが必要) ・好き嫌い (好物: 嫌いなもの:) ・主たる食事場所 (ベット上・食堂・その他) ・誰と食事 () ・食事療法・指導の必要性 (要・不要) ・体重の増減 (有・無) ・BMI (18.0) 痩身 軽度痩身・普通・軽度肥満・肥満 ・その他 () 	
20	問題行動	問題行動 (有・無) ※該当するものに○ () 徘徊 () 暴言暴行 () 過食拒食 () 異食行動 () 被害妄想 () 幻聴幻覚 () 夜間せん妄 () 不潔行為 () 介護への抵抗 () 収集癖 () 火の不始末 () 昼夜逆転 頻度と介護の手間 (時々・ほぼ見守り状態・常時目が放せない・昼夜を問わず過酷な状態)	
21	介護力	<ul style="list-style-type: none"> ・キーパーソン (長男) ・主介護者 (妻) ・主介護者の状況: 健康 (良・普通) 病気がち・高齢) 負担感 (無・軽度・中等度・高度) 代替者 (無・有) : 一人、二人以上 長男 仕事 (有・無) 意欲 (有・無) 介護知識・技術 (不慣れ・普通・熟練) 介護可能時間 (二人暮らし) 	在宅は妻との2人暮らしであり、妻介護している。以前、圧迫骨折を受傷し、動かせなくなった際には、長男に連絡をして来てもらったこともある。
22	居住環境	<ul style="list-style-type: none"> (持ち家・借家) (戸建て木造 一戸建て鉄筋等・マンション・アパート) 階段 (有・無) 本人の居室 (1階) エレベーター (有・無) ・通常の移動、移乗手段及び生活行為でバリアーとなる ※箇所該当するものに○ () 玄関までのアプローチ (○) 玄関上がり框など (○) 廊下 () 居室 () ベッド周辺 () リビング (○) トイレ () 食堂 (○) 浴室(脱衣室・洗い場・浴槽) () 洗面所 () 庭先 () その他 ・住宅改修の必要性 (有・無) ・福祉用具導入の必要性 (有・無) 	別紙参照
23	特別な状況	特別な状況 ※箇所該当するものに○ () 在宅酸素 () 経鼻栄養 () 胃ろう造設 () 人工肛門 () 膀胱ろう造設 () 留置カテーテル () 吸引機使用 () 摘便 () 虐待 (身体的・放置)	
	個人因子	<ul style="list-style-type: none"> 性格: (頑固) 趣味: (自宅に薪ストーブがあり、薪を集めたり、家庭菜園をしたりしていた。) 職歴・生活歴の特記事項 () 経済上の問題 (有・無) 希望する1日の生活行為時間帯 () その他 () 	歩行不安定であり、それを家族が注意すると立腹する。家族の言うことはあまり聞き入れない。
生活の意向 (望む暮らし) 圧迫骨折を受傷する前までは、薪を集めたり、家庭菜園をしていた。妻はシャント作成をしており、今後透析導入になる。この先どうなるか分からないが、これからも夫婦で過ごした家での生活を続けたい。家に居たい！			

課題分析(アセスメント)に関する項目(別紙)

受付日(令和5年●月●日)受付者()

利用者名: ●●●

10 健康状態	<p>つづき ファモチジン錠20mg 1T1×朝 クロピドグレル錠75mg 1T1×朝 アムロジピンOD錠5mg 1T1×朝 バルサルタン錠80mg 1T1×夕</p> <p>令和5年2月16日～4月10日まで圧迫骨折にて入院。退院時はT字杖歩行獲得されている。</p> <p>圧迫骨折受傷前までは、自家用車を運転し、通院していた。圧迫骨折受傷後は長男が送迎している。内服は妻が管理しており、準備したのを吞んでいる。</p>
16 排便・排尿	<p>尿意便意があり、自分でトイレに行っている。夜間トイレの回数が多く、入院中はポータブルトイレを使用していた。</p>
22 居住環境	<p>もともと勝手口の土間から行き来をしていた。しかし、そこで転倒された為、今後は玄関の方から出入りするようになった。しかし、玄関の段差も高いため、転倒のリスクがある。</p> <p>トイレ内に手すりなど支えるものがないので、起立時に不安定。 寝室からトイレまでが遠く間に合うか不安。</p>